

令和6年度生駒市男女共同参画審議会(第3回)

1 日 時:令和6年8月20日(火) 午前10時から午前12時まで

2 場 所:生駒市コミュニティセンター 2階205会議室

3 出席者:田間委員、藤次委員、生駒委員、田中委員、宮寄委員、緒方委員、城野委員

(事務局)小林総務部長、後藤人権施策課長、男女共同参画プラザ 福山所長、真銅

4 議事内容

1 第4次生駒市男女共同参画行動計画について

2 その他

5 傍聴者:なし

事務局	<p>【会議の成立報告】</p> <p>本日の会議は、全員の委員の出席がありますので、男女共同参画推進条例施行規則第12条第2項により成立していることを申し上げます。また、議事録作成のため録音させていただきましたのでご了承のほどお願いいたします。</p> <p>【会長に議事進行依頼】</p> <p>これより案件に移りたいと思います。以後の会議につきましては、施行規則第12条第1項、審議会の会議は、会長が議長となるとの規定がありますので、議長は会長をお願いいたします。</p>
会長	<p>【会議の公開及び議事録の公開の確認と傍聴確認】</p> <p>今、事務局より原則、会議と議事録の公開について説明がありましたが、もし途中で傍聴の方が入れられるときは宜しく願います。では、公開については異議なしということで会議次第に従って事務局より資料1の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(事務局説明)</p>
会長	<p>今回の資料1の10ページまで全てカラーで印刷されていますが、白黒印刷になるので、グラフの色を変更された方がいいと前回、委員からご指摘があったかと思います。頂いた資料通り発色刷りのままで報告書が出るのでしょうか。</p>
事務局	<p>白黒で刷る可能性が高いですが、グラフがわかりづらいため、何ページ分かはカラー刷りの予算を取れるか確認・検討いたします。</p>
会長	<p>わかりました。</p> <p>今回の資料は事前に委員の皆様全員にご送付いただいていたか。</p>
委員	<p>メールで送っていただいています。</p>
会長	<p>それでは確認は大丈夫ですね。前のページから順々にご質問をお聞きしたいと思います。</p> <p>第1章についていかがでしょうか。</p>
委員	<p>P2からP5は、西暦と元号が併記していることが多いですが、特にP3の下から2行目の令和4年、それから次のP4、四角枠の上の「2024年、令和6年」と、四角枠内の「令和5年、令和6年」について、西暦と元号との間に全く隙間がありません。他のページでは、全角スペースで隙間があるため見栄えが違う気がします。体裁を統一していただいた方がいいと思います。</p>
事務局	<p>綺麗になるように工夫させていただきます。</p>

会長

私からの意見ですが、P3②の日本の動きの二段落目、「女性や児童の心身を保護し…」というところで、児童虐待防止法が公布・施行されたとありますが、例えば北京の行動計画にあるように「女児」という表記になっていれば分らないのですが、日本の児童虐待防止法は特に「女児」に焦点を置いている法律ではなく、単にこどもの人権を保護している法律なので、なぜ唐突に「児童」について入ってくるのかが分かりません。

DV被害が特に女児に多い等であれば理解できますが、少し唐突感があると感じました。

このまま残しておいてもいいかもしれませんが、よく「女・こども」という形でまとめられてきた歴史を考えると女性と児童をここで一緒にしておくのは、男女共同参画の視点から考えると本当は違うと思いました。「女児」となっているのであれば分りますが、難しいところですが、違和感がありました。

もう一点、P3の一番下の行で、「これを受け、困難女性の法律が制定されて支援が行われています。」というのは、その上の段落と一つにしてもいいと思います。新型コロナウイルスで女性の自殺が多かったことなども含めて制定と支援が行われたため、繋がりが強いと思います。

ページに余裕があれば、男女ともに困難は抱えていても、特に困難女性の法律をなぜ策定しなければならなかったのかといった背景をご記載いただいた方が、分かりやすいのではないかと思います。

日本の動きとして、政治における男女共同参画を推進するための法律ができていますので、それも記載いただいた方がいいのではないのでしょうか。

それはなぜかという、結局、後でジェンダーギャップ指数を説明した際に政治分野と経済分野が日本の大きな課題だというのが言われてきている中で、それに対応する一つが、政治の場における男女共同参画推進の法律だからです。政治の法律は重要なので入れておくべきかと思いました。

他にはよろしいのでしょうか。では、第2章に移りたいと思います。ご意見をお願いいたします。

委員

また、再校正すると思いますが、先ほど委員がおっしゃられた西暦と和暦が混在するところ、和暦だけのところが2章にも少しありました。

会長

最初の、人口と世帯のグラフを見ると、生駒市の少子化が顕著になっています。2015年までは1000人前後のこどもが生まれていたが、2020年には600人という衝撃の数字となっています。2023年では回復していますか。

事務局

あまり変化はなく600人台です。

委員

2020年以降、下がっているのは何か原因があったのでしょうか。

事務局

2020年はコロナが流行していたということも原因の一つだと考えられます。

委員

全国的にはありますよね。

会長

合計特殊出生率は、もう少し上がってきているのではないかとはいいます。これや、高齢者が多くなっているなどは基礎的なデータだと思うので、市民に伝わるといいます。

次にP9～の「就労」について、生駒市の男性の就業率を最新の生駒市の部分だけでも載せてもらえると、女性との比較ができるのでいいと思います。

2015年を入れるか2020年だけでいいかというのは、減らすのであれば2015年だと思いました。

P10で、配偶者のいる女性と未婚女性のデータから、生駒市は専業主婦率が高い傾向があります。今後の課題として多様な働き方をより一層支援していくことに関わってくるのではないかと思います。この方々がステークホルダーとして活躍していただく方だと思います。

また、最近では死別よりも離別が増えています。国勢調査では離別は別の形で出している
ので、市内の未婚女性だけではなく、離別の数値を入れてもいいかもしれません。ひとり親支
援ということでは関係するデータになるため、何%いるのか気にはなるところです。

日本は先進国の中で特に離別のひとり親女性の就労率が高い国です。有配偶との差が大
きく、所得の再配分がうまく回っていないのが貧困に繋がっています。

委員 専業主婦率が高いのであれば、離別はより経済的なダメージが大きいですね。生駒市で
は、専業主婦率が高いのであれば離婚する方は少ないのではないかと思います。これで離婚
率が高ければ大事になります。

委員 前回の資料で、母子世帯の推移があるので比較はできると思います。

委員 母子世帯が離別か死別か元々無配偶かになりますよね。

会長 その3種類ですね。現在、全国調査では圧倒的に離別が多いです。死別が10%を切り、未
婚の母が10%を超えてきています。残りの8割程度が離別となっています。これら全ての数値
が国勢調査に掲載されています。

委員 生駒市の離別の方の就業率は出せますか。

会長 国勢調査で出せるのではないかと思います。

委員 父子家庭がととも増えているのは何故なのでしょう。

委員 離婚した時にお父さんの親権が取りやすくなってきたからだと考えられます。

会長 色々変わってきているのですね。

60年代はお母さんが引き取ることが多かったですが、最近では父親の育児力も認められ
ようになってきたのかもしれない。しかし、生駒市の場合は分かりませんが、東北地方で
は父子世帯と言っても祖父母と一緒にいる家庭が多かったです。

委員 離婚率が、1000人に対して沖縄県2.5で生駒市1.4なので、生駒市は著しく低いですね。

会長 おおよそ離婚の割合は北海道と沖縄がととも高いです。生駒市の離婚率などの現状も踏
まえて再度、掲載内容を検討いただきたいと思います。

では、次に、男女別雇用形態について、何かご意見ございますか。特にご意見がないよう
であれば次に行きます。

DVはコロナ禍で増えていることが全国的にははっきりと出ています。また県、市でもそう
であったことが分かります。

委員 P12～P13の、左上のグラフと右下のグラフに表示されている数値が重なっていて読み取
りにくいです。はっきりと読み取れるようにしていただくと、非常にわかりやすいと思
います。

会長 この辺りはデータではっきりと問題があると出てきており、誰にもどこにも相談しなかつた
と多く出ているのでコロナのあと沈静化もしていない、まだ課題が残っているのもわかりやす
いかと思います。では、P14 健康寿命についてはいかがですか。

委員 健康寿命についてはではないですが、中学生のアンケートやDVのところでは割合と%表記
が併用されていますが何か意図がありますか。具体的な区別について教えてください。

事務局	特に意図はありませんが、グラフから読み取れる内容をまとめています。統一するようにいたします。
委員	統一してしまうと読み取りにくいところもあると思います。表記について気にされる方もいるかもしれないので、実際の数字を持ってきて示した方が理解しやすいといった理由などで線引きした方がいいと思います。仮に市民の方々からこのような質問があったときに、線引きしている理由を述べられれば対応がしやすいのではないかと思います。
会長	<p>次に、P15の2-2のアンケート調査の主な結果に移ります。P15からの市民アンケートと中学生アンケートの結果の並び方を基本同じにするのが良いと思います。</p> <p>今の市民アンケートの並び方が良いかは判断できませんが、市民アンケートでは①意識と行動、②家事時間、③役割分担、④平等感の結果を載せているので、本来は中学生もその結果を載せるべきではないでしょうか。</p> <p>中学生アンケートで、平等だと思うかについて質問されている中で、政治について「不平等だと思う」という結果がはっきりと出ています。これは大人も感じているが中学生もわかっているといった出し方をしておくべきかと思います。例えば政治についての平等感であれば、中学生の男子と女子で3%の認識の違いがあったかと思うので、P17の男女の地位の平等感について述べている後に、中学生も違いを感じていて、さらに男女で認識の違いがある。といった形で市民アンケートから繋がるようにまとめて載せてあると良いと思います。今はそこまで、中学生と市民が同じ場所にありませんが、役割分担の意識も中学生結果が市民アンケートの後ろに来てよいと思う。中学生アンケートだけまとめて載せるのであれば、最初を市民の並びに合わせ、性別についての思い込み、ジェンダーバイアス、性の多様性の順にしたほうが良いと思います。</p> <p>中学生がどのような理想像を持っているかということも併せて掲載すると、それを市民アンケート調査と一緒に読んでもらえるので、考えがずれているのか同じ考えをしているのかも判断していただきやすくなるので、整理をお願いします。</p>
委員	<p>P17の結果は、質問表の順番になっていると思いますが、P13などのように数字が高いものから並べていただいた方が、何が大きな課題となっているかが分かりやすいと感じました。これはP17以外でもいくつかあるので、時系列で追ってない時点のアンケートはP13のようにしていただいた方がいいと思いました。</p> <p>もう一点、P16で網掛けされているところの差異を出したら、より面白いのではと思いました。例えば「子どもの世話」だと6、7%ぐらいの差ですが、「家計の管理」だとあまりずれがないです。これは男性と女性で役割分担ができてしまっている、また、実はやっていると思っているものが実はやれていないということもあるのかもしれない、そこが浮き彫りになってくると思いました。</p>
事務局	差異は文章にしたほうがいいのでしょうか。
委員	いえ、それを読み解くまではしなくてもいいです。女性の「どちらかという自分」マイナス男性の「どちらかという自分以外」の数値差を機械的に表にしてみたらいかがでしょうかということです。
事務局	別表で入れたほうがいいですか。
委員	そうですね。もしくはこの表に一行いれてもいいと思います。
会長	少し難しいのが、自分以外の家族が夫以外にいる場合があるので、対象を核家族に絞っているのであれば、自分と自分以外っていうのは、今おっしゃったようなずれになると思うのですが少し難しいかと思います。

委員 なるほど。それは差がはっきりとは出せないで、誤解を生じさせるかもしれません。

会長 半々ずつ分担についての男女のずれを見るのはいいかもしれません。今更ですが、この質問がカップル+こどもの家族だけを想定している質問になっているので良くないと思いました。

委員 それで言うと、このどちらか半々ずつ分担が、誰と誰を指しているかが分からないとなってきます。「どちらかという自分」と、「どちらかという自分以外」が偏っていることが問題で、例えば食事の支度では、女性が「どちらかという自分」が79%で、男性が「どちらかという自分」が8.5%しかいない現状があまりよくないと思います。
これであえて網掛けを斜めにしてしまうと、それを想定させるようになります。どちらかという自分と自分以外のところだけ両方とも色をつけてしまってもいいのではとも思います。

事務局 網掛けは、無回答までの間で一番数字の高いところにつけています。現実と理想のギャップを見たかったので、このようにしています。

委員 そうですか。ですが、男女半々ずつという意味で捉えているとも言えないですね。一番多いところが増えるということなので、問題ないと思います。

会長 理想の「半々ずつ分担」に全て網掛けがかかっていることがインパクトがありますね。

事務局 理想では「半々ずつ分担」でも、様々な諸事情でできないということが結果として見えてきたことが大きいですね。

委員 買物(日用品)の理想は「半々ずつ分担」が男性の方よりも女性の方が少ないので、買い物は男性(自分以外)にしてもらいたいと思っている女性が6%ほどいるのが興味深いと思いました。

会長 余談ですが、家計の管理を「どちらかという自分」がやりたいと考えている女性が多いことも興味深い結果だと思いました。
一点目で言っていた P17のグラフを数字の高い順に並べ直した方がいいという件についてですが、これほどここに一言注釈入れたほうがいいかもしれません。
アンケート調査票は調査結果の報告書の方には載せませんが、この計画書には載らないですよ。

事務局 載らないです。

会長 グラフの並び順で回答が変わりますので懸念がありますが、調査結果の報告書には順番通りに結果が載っているので、こちらの計画書ではわかりやすいようにしたとすれば、委員がおっしゃったように変えてもらうのも問題点がはっきりしてきていいかもしれません。

委員 これは男性優位だけの順番にするのかそれとも、やや優位まで入れた順番とするかどうしますか。

会長 それは何が言いたい次第ではないでしょうか。

委員 文章中では、「男性優位」・「やや男性優位」が一緒になっています。

委員 回答に「平等」もあるので、「平等」以外の増えているところ偏っているところを見た方がいいのではないのでしょうか。

会長

委員

政治が一番高いので、並びは上になりますね。社会全体が一番上に置いておきたいですが、次に就職や職場と社会通念や習慣が並び、学校が一番下となります。

会長

社会全体を一番上とするならば、そこで一旦区切り線がある方がいいですね。

委員

斜めの繋ぎ線をなくすということですね。

会長

「社会全体としては」を指標にするということでしょうか。

委員

そうですね。平均として扱うということも1つですね。「社会全体として」を一番上に置いて、次に「政治の場では」、「社会通念や慣習」、「就職や職場では」…の順になります。

他に今のところで何かご意見ありますか。

会長

P19のタイトルで、「思い込み」という言葉がずっと引っかかっていました。大人が男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしくの考え方を刷り込んでいっているのに、中学生に対して「思い込み」という言葉を使っているのかと疑問を感じていました。しかし会長から大人が思い込んでいることを子どもが感じ取って思い込ませてしまうといった説明を受けたので、「思い込み」という言葉を使ってもいいかとは思いましたが、まだ少し疑問が残ってはいます。

事務局

わかります。その質問で、図表タイトルにジェンダーバイアスという言葉を使っているのに、ジェンダーバイアスをタイトルにしてもいいとも思います。

ダッシュ線のあとに性別についての思い込みと書かれていますが、これが中学生の思い込みなのか親や他の大人の思い込みなのか分からないです。

女だから男だからこうなさいと言われる、言われないは親や大人のジェンダーバイアスの問題だと思うので、性別についての思い込みではなく、「ジェンダーバイアスを受けた経験」などに変えたらいいのではないのでしょうか。その下の質問にジェンダーバイアスに対する心境があるので繋がるかなと思います。

しかし、ここでいきなりジェンダーバイアスという言葉が出てきますので、一般の方には伝わるのでしょうか。

会長

説明をどこかに記載するか用語集などを追加しようかと考えています。

事務局

ジェンダーギャップ指数のように記載するという事ではないということですか。

会長

ジェンダーギャップ指数では言葉の説明と他に伝えることを書きますが、そうではなく用語だけをまとめたものを載せるということです。

委員

そのようにしていただければ大丈夫ですね。では、説明する言葉には※をつけてまとめて記載いただければと思います。

では、次にP23の「雇用・就労」について、何かご質問ございますか。ページに空白があるので何か追加していただいても良いかとも思います。

事務局

P23だけについての事ではないですが、フォントがグラフによってだいぶ違うのではないかと思います。P29は違いますよね。

会長

前回の資料から修正している途中経過なので、バランスが悪くなっています。

話を戻しまして、P23の女性が職業を持つことについて、ずっと継続する方がよいとする男性が多くなっており、男性の意識変化が見られます。女性ばかりが意識変化したわけではなく、男性も同じように変化があるということ付け加えてもらえたらいいと思います。60歳代以

上になると女性も継続しない、やめるべきというような考えが多い傾向がありありますが、若い世代の男女は意識が変わっていることを伝えて欲しいです。

P24～育児・介護休業について、ご意見等ございますか。

委員

P25からグラフの中に四角枠で「n=」が表示されていますが、少し表記がバラバラなので、統一された方がいいと思います。

会長

育児・介護休業については他にご意見等ないようですので、次にP29～30に移ります。デートDV教育とかを新たな方針のところに入れてのであれば、中学生アンケートからデータを拾ってもいいのかとは思いました。

P30では、全ての回答で「変だと思う」が一番多くなっていますが、「①メールなどの返信が遅い」といつも怒る」は、男女で「別に变だと思わない」が30%以上いること、また「⑥体を触るなど相手が嫌がることをする」は、男女で「変だと思う」が10%も差があり、男子の16%が「別に变だと思わない」と回答していることが問題ではないかと思いました。

ここはアンケート結果から課題や重点施策までの繋がりが良く、読みやすい順番になっていたと思いました。その他に入れておきたいことや除いた方がいいものについて最終確認していただきたいと思ひます。

委員

イクボスのところで、認知度に課題があるというところを入れていただけると良いかと思ひます。

会長

私は、アンケートでトイレなど性的多様性に関することを聞いているのに、ここには入れていないのでこのままでいいのか少し疑問に思っています。

中学生アンケートでは、性別が「どちらでもない」のカテゴリ該当者の悩みが多いことが見えてきています。若い世代はこれまでの「男女共同参画」とは違った世界で生きてきています。今後はデートDVについても性的多様性をふまえ同性からのDVも含め教えなければならないなど、性的多様性に関することも入れておいた方がいいのではないかと思ひました。

委員

事業所アンケートの33ページの結果で「男女の区別がないトイレ」を設置している値が50%以上あるのを見て、全国的にも似たような傾向だとは思ひますが、まだまだ進んでいないと驚きました。

事務局

生駒市内は中小企業が多いので大企業であればそんなことはないと思うのですが。

委員

建設現場であれば、簡易トイレが男女共同のトイレになりますよね。

会長

男女別ではないというのは、ヨーロッパあるいは建設現場のような、全部が個室になって男女の区別がないものなのか、あるいは男の人のトイレに女の人が入らないといけなくなってくるのか、という違いがありますよね。

事務局

大企業では男性用、女性用と誰でも入れるトイレと分けられているようです。

会長

小さい企業とかは男女どちらのプライバシーも守られないような感じですね。今は、一番後ろのページにある重点施策に合わせて、2-2の①②③の情報が絞られてしまっていますよね。

事務局

そうですね。今、いただいたご意見を参考に、重要なところを追加していきたいと思ひます。

会長

新たに「④その他」を作って、重要なものをそこに入れてもいいのではないのでしょうか。今回は見直しなので、問題が突出している3つを重点施策にしていくが、性的多様性などの重要な残された課題をそこでピックアップしてもいいのではないかと思ひます。

委員

DVIは重点施策について、前回の計画案では相談窓口の認知度のグラフも入っていたのが削られてしまっているのですが、重点施策に相談・支援体制の充実となっているのでそのグラフは残しておいた方がいいと思います。

事務局

グラフではないですが、4章以降に施策の概要等を載せています。そのページと内容が重複するかと思いますので、載せておりませんでした。相談窓口の認知度が少ないことを記載した方がいいということでしたら、載せようと思います。

会長

どれだけの人が知らないかは重要な結果として入れておいてもいいと思います。

委員

一番知っている相談窓口が生駒市男女共同参画プラザであることを入れておいてもよいかと思います。

会長

他にはいかがでしょうか。それでは、もう少し調査結果を入れて、整理して、課題も3つ以外も触れられるようになれば良いと思います。そうすると、33ページの基本的な考え方についてご意見いただきたいと思います。この前の議論で基本目標は概ねこの方向で良いとなっており、重点施策を追加していますが、何かご意見ありますか。

委員

P31の2-3取り巻く現状と課題の①固定的な性別役割分担意識についての課題のところ、アンケートでは意識だけではなく行動についても聞いていて、意識だけであれば違いはないけれども、行動として、男女で活躍の状況が違う、色々言われたことがあるということがあって、行動という問題がありその原因としての意識があるという流れかなと思いました。

なので、前段のアンケートのところが行動と課題で、意識が課題なのかと考えたところがまざ一つです。

続いて、P31②働き方についての課題ですが、ここは2段落構成になっていて、1段落目でアンケートのまとめ、2段落目で課題の背景が記載されています。アンケートでは女性が職業を持ち続けたいという声があっても代替要員の不足、職場の風土などで、それが難しいとなっているのに、その後の文章では、人生100年時代の話になりますが、人生100年時代だから必要だという論理には繋がりにくいのではないのでしょうか。働き続けたいと思っている人が多いけれども、まだまだ環境整備が整っていないのでこれについて取り組んでいきます。という流れにしたらいいかと思います。

背景のところ、育児・介護休業が取れないことはストレートに書かれるとよりいいと思います。

そして、100年時代というよりは、それぞれの置かれた状況で働き方を選択しやすい社会になるべきであり、事情を抱えている方も働けるようにしていきたいという取組にさせていただくのはどうかと思いました。

会長

「人生100年時代の到来」という言葉を取ればいいということですね。

委員

前半にもそれが出てくるので取りづらいところはあります。

会長

取ってもいいと思います。

委員

P36の一文目、施策の中でも、「近年の本市の状況や社会情勢、市民アンケート調査の結果などから見えてくる～」と書かれていますが、その下の基本方針4の右側の文章には、「働きたい人が、性別や年齢にかかわらずその能力を十分に発揮できる社会はダイバーシティの推進につながります」というのが、とても目線が広いように感じたので、本市の状況から素直に書かれた方が伝わりやすいと思います。

基本目標1・基本方針2の男女共同参画の性別役割分担意識や行動について偏りがあることに関してこれに取り組まなければならないということが、なぜこどもたちに焦点を当てるのか

事務局	<p>といった疑問が出ると思います。そのため、なぜ子どもたちの教育を重点的に行うのかについて記載しておく必要があるのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>「男女共同参画を推進するため～多様性の尊重などのためにとっても重要です」から「そのため、自己形成期にあたる子ども達への男女平等教育を充実するとともに」の文章に繋がるのは少々難しいかなと思いましたので、子どもたちを取り巻く環境もまだ平等ではなく、子どもたちの意識も変えていかないと平等でない社会が再生産されてしまう。将来を変えるために子どもたちの教育から変えていくといったストーリー調にしたらいかがでしょうか。</p>
会長	<p>ストーリーにしたいのですが、少し難しいです。</p>
委員	<p>文の書き方が「これが重要だから、こうします」となっていますが、「こうだから、こうします」といったように、「私たちの課題はこれなので、こうします」といった構成に修正された方が良いかと思いました。あくまで参考程度にお聞きいただければ大丈夫です。</p>
事務局	<p>それに関連して、3-4重点施策「施策の中でも」を文章の初めではなく、間に持ってくるのはどうでしょうか。「近年の本市の状況や社会情勢、市民アンケート調査の結果などから見えてくる課題を踏まえて、施策の中でも～位置づけます」とした方が良くないのでしょうか。</p>
委員	<p>P31性別役割分担意識についての課題の最終行にある「性別役割分担意識の解消に向けて、引き続き意識の醸成や啓発に取り組んでいくことが必要です」の「意識の醸成」をP36の基本方針2、1行目と同じように「男女平等意識の醸成」とはっきり記載された方がよいと思います。</p>
会長	<p>推進会議で意識の醸成はできてきているが、行動が追い付いていないという論議がされました。ここは、意識というよりも行動を変えていけるような表現を考えておりますが、難しいところではあります。</p>
委員	<p>今の時点で、「性別役割分担意識をどうするか」という内容を4章以降で述べる予定ですが、まだこれも試行錯誤中です。</p>
事務局	<p>重点施策のページでは、「男女平等意識を醸成すること」が、「性別役割分担意識の解消」に繋がっているの、さきほど言ったP31も男女平等意識と書かれてもおかしくないかと思えます。</p>
委員	<p>男女平等意識が実現されている社会に向けて行動できるようにしていくことが必要ということであり大切ということを書き込んでおけばよろしいのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>余談になりますが、最近、自治体で、母子手帳だけではなく父子手帳も発行しているところもあるようで、先日、うちの子どもがもらった父子手帳を見せてもらいました。手帳をもらうことで子どもの父親という責任感等により自覚が出る。それは男女平等意識の醸成というところで繋がってくるのではと、今のお話を聞いていて思いました。</p>
委員	<p>沐浴などを学ぶママ教室は今、パパママ教室となっていて、プレママだけではなくプレパパも一緒に参加するのが主流になってきています。男性は視覚的に捉えられる方が認識しやすいといったデータもあるので、必要かもしれないです。母親とは違って自分の中に宿る時間がないので、特にそれが必要だと実感として思います。</p>
委員	<p>父子手帳はお父さん向けの教科書ですが、母子手帳は法令に定められている。こども母子と父子で分けるのではなく、通称こども手帳として、母子手帳の中身にこんなことをしましょうと書かれていたら、よりイメージできやすいと思います。ママもパパと一緒にやらないといけないうのに、ママが頑張ってしまうこともあるので。</p>

事務局	独占的になってしまうお母さんもいて、これは母性が勝ってしまうときもあるというのを聞きます。本当は、育児は一緒にするんだと思ってほしいです。
会長	まだ結婚する前から父子手帳やこども手帳の存在を実感していたら、こどもたちの意識が変わって実際に行動に移していきたいと変わるかもしれません。
事務局	こども関係に限らず実際の授業などを聞き取りするときに、先読みした考えがあれば、それを情報として入れていくことで、5年後、10年後の目標や目指す方向性などが書ききれないのではないかと思います。
会長	アンケートに出てきた理想を実現するために市民や中学生に力をつけてもらうことが大切です。意識は既に持っているので、それを実現するための行動を啓発すること、そしてその環境を整えていくのが行政の役割で、さらに意識啓発を改め事業所にも働きかけていく。暴力や困難女性支援については、土台の安全環境の問題なので、それを三つ目の柱にすると全て関連していると思います。
委員	P33、基本的な考え方の②性と生殖に関する個人の意思が尊重されるとありますが、性と生殖という中に、「恋愛対象」という言葉を明記してもいいと思いました。
会長	課題の④に新たに記載するのがよろしいかと思います。中学生アンケートなど活用しつつ残された課題として記載しておくべきだと思います。ここの性というのはセクシュアリティの性的指向と性別と両方入っているはずですが、今後の問題として認識していると書いておく必要があるとは思いますが。
委員	P31①最終行の表現を考えてみました。「引き続き意識の変化に向けた行動を生み出すための取組が必要です」。または、「引き続き意識の変化を促す取組が必要です」というのはいかがでしょうか。醸成や啓発よりも、もっとストレートに伝えたほうが伝わりやすいと思いました。
会長	まだ役割分担意識を持っている人もいますのでそこは引き続き意識を変えてもらえるようにしつつ、男女平等意識をもっている方には行動に移してもらって行動に繋がるというような力強い文章表現でもいいのではないのでしょうか。 その他はよろしいでしょうか。重点施策はこの3つで大丈夫ですか。私は、基本目標3を基本方針7に絞るかどうか悩んでいます。
委員	デザイン的なところですが、基本目標の3つがこのページで伝えたいことなので、「基本方針1」の言葉をもう少し小さくしてもいいと思います。最初のページから順々に読んでくれる人にはあまり関係のないことかもしれませんが、このページだけを読む人もいますかもしれません。その時に基本目標と基本方針の数字が多すぎて混乱するかと思いました。パッとみて分かりやすいようにバランスを考えていただけるとありがたいと思います。
事務局	前は言葉の先にしていました。バランスを考えたいと思います。
委員	そうですね。どれだけの人が最初のページから読んでくれるか分かりませんし、このページだけを読んでも伝わらない気がします。このページだけで理解できるくらいにしておいたほうがいいと思います。
会長	それでは、ここだけ見て分かるようにしてもらえると大変ありがたいので、デザインを高めていただくようお願いします。

委員 P35の文字が小さくて読みにくいです。

事務局 まだ、仮の図を載せているので、他市の事例を参考に修正いたします。

委員 基本目標の前に基本理念があったはずですが、その関連が見えづらいと思いました。パッと見て繋がらないと思いますが、簡単な文で表現するのは難しいですね。

事務局 条例の項を一つずつ並べているので、一言で言い表すのは難しいです。

委員 もう少し違う言い方をすると、基本理念、基本目標、基本方針、重点施策の4段階あるのでわかりにくく感じました。

会長 理念の内容は変更できないので、難しいと思います。

委員 このアンケート自体がこの理念に基づいて書かれているので、この理念をひっくり返そうというのではなくて、この理念の下にこのP7からの内容が始まりますよね。

委員 理念は本来、第1章に来るべきものだと思います。

事務局 位置付け、理念、その後こういう課題が見えてきたからこうしますという流れでもよいかもしれません。

会長 たしかに1章に移して、P5の④生駒市の動きの後に持ってきてもいいかもしれません。

委員 P5の真ん中あたりに条例を制定しましたとあるので、その紹介として条例とかあればいいかなと思います。

会長 この計画はこの基本理念とするよりも、基本理念を基にこの計画とするに入れ替えて、本計画の位置づけ、計画期間の順番にする。それで、今回の基本目標からその前の結果を受けて、この3つとするほうがスッキリするかもしれないですね。

事務局 計画の体系図も1章の方に入れるということでしょうか。

会長 P35の体系図は基本目標と基本方針に繋がるので、P34からの第3章に入れる方がよいと思います。

事務局 「3-1理念」を第1章に持っていくということでしょうか。

会長 そうです。条例の話なので、条例の事を述べているところに持っていく。位置づけの後に理念を入れるのが良いと思います。

委員 細かいことですが、P7上のグラフのタイトルが「年齢3区分別」ですが、4区分です。P8のグラフ縦軸左側は、出生率ではなく、出生数です。P12のグラフ、凡例で県、市町村、全国となっていますが、市町村を県内の市町村とした方がよいと思います。

会長 県が相談受けている件数と県内の市町村が相談を受けている件数ですよ。

委員 はい。表しているグラフは正しいですが、「全国」と比較されているのであくまで県内市町村である。ということを凡例にも明記されていたほうがよいと思います。

会長 | 他のご意見、皆さんよろしいでしょうか。では、ご意見がないようなのでこの議題を終了いたします。では、次の議題、その他を事務局の方から説明をお願いいたします。

事務局 | 次回は、10月8日の 14 時から実施します。10月下旬の日程は後ほど調整してご連絡いたします。

以上